

カニクイザル飼育ケージ(体温測定型) 一式
(搬入、据付、配線、配管、調整を含む)

仕 様 書

滋賀医科大学会計課契約係

令和8年1月

TEL:077-548-2036

I.仕様書概要説明

1.調達背景及び目的

WPI 事業においてカニクイザルの繁殖母群維持と並んで重要な業務に繁殖操作、すなわち ICSI 技術を用いた室内人工繁殖がある。本操作には卵子ドナーならびに受精卵レシピエント(仮親)の選抜が重要である。そのため当センターでは独自の技術開発によりカニクイザルの基礎体温検出システムを導入した。本システムは既存の飼育ラックに体温信号受信装置を設置することで運用が可能となる。ただし、既存システムの運用に際しては受信装置を設置できる機能を有する専用飼育ケージが必要となる。今回は検出システムの設置が可能となる改良型のケージを調達する。そのためには、以下の仕様に合致したケージの調達を行う必要がある。

2.調達物品名及び構成内訳

カニクイザル飼育ケージ(体温測定型) 一式
(搬入、据付、配線、配管、調整を含む)

(構成内訳)

1. 体温信号受信装置内蔵用天井板 1X8 台
2. カニクイザル飼育ケージ本体 1X8 台
搬入、据付、配線、配管、調整を含む

3.技術的要件の概要

- (1) 本調達物品に係る性能、機能及び技術(以下「性能等」という。)の要求要件(以下「技術的要件」という。)は、「Ⅱ.調達物品に備えるべき技術的要件」に示すとおりである。
- (2) 技術的要件は、すべて必須の要求要件である。
- (3) 必須の要求要件は、本学が必要とする最低限の要求要件を示しており、入札機器の性能がこれを満たしていないとの判定がなされた場合には不合格となり、落札決定の対象から除外する。
- (4) 入札機器の性能等が技術的要件を満たしているか否かの判定は、本学動物生命科学研究センター設備技術審査職員において、入札機器に係る技術仕様書、その他の入札説明書で求める提出資料の内容を審査して行う。

4.その他

(1)仕様にに関する留意事項

- ①入札機器は、原則として入札時点で製品化されていること。入札時点で製品化されていない機器によって応札する場合には、技術的要件を満たすことの証明及び納入期限までに製品化され納入できることを保証する資料及び確約書等を提出すること。

(2)提案に関する留意事項

- ①提案に関しては、提案する機器が本仕様書の要求要件をどのように満たすか、あるいはどのように実現するかを要求要件ごとに資料を添付する等して具体的かつ分かり易く記載すること。従って、本仕様書の技術的要件に対して、単に「はい、できます。」、「はい、提案します。」といった回答の提案書であるため、評価が困難であると調達側が判断した場合は、技術的要件を満たしていない資料とみなし不合格とするので十分に留意して作成すること。

②提出資料等に関する照会先を明記すること。

③提案された内容等について、問い合わせやヒアリングを行う場合があるので、誠実に対応すること。

(3)導入に関する留意事項

①導入スケジュールについては、本学と協議しその指示に従うこと。

②搬入、据付、配線、配管、調整に要するすべての費用は、本調達に含む。

Ⅱ.調達物品に備えるべき技術的要件

(性能、機能に関する要件)

断りのない限り、複数の機器に対する要件は、1台につき以下の要件を満たすこと。

①カニクイザル飼育ケージ(体温測定型) 一式に関し、以下の要件を満たすこと。

1. 本体の材質は、SUS304 以上の SUS 鋼材であり、溶接箇所は金属腐食を防ぐための処理加工を行うこと。
2. サイズは W502×D852×H840(±10mm)(※狭体ハンドルおよび吊りレールは含まない)であり、既存の背面 2 段フック式のラック、および吊りレール式のどちらの設置方式にも対応し、既存の飼育スペースでも各パーツが干渉することなく設置可能であること。
3. 止まり木はサルが齧っても削れにくい樹脂製で木に模した茶色であること。
4. 狭体に連動する折り畳みタイプで、動作は狭体使用時に自動で折りたたまれ、狭体収納時は止まり木が元の位置に戻る構造であること。
5. スノコは削れにくいメラミン加工樹脂製で表面は出血を発見しやすくするために白色であること。サイズは W445×D845 の 8mm 厚で、φ25 の穴を同列上 60mm ピッチでパンチ加工し、次段へは 40mm ピッチで、隣の段の穴とは穴位置が重ならないように均等にずらした位置に配置すること。また、後端には排泄物を落とすための切り欠きがあること。
6. スノコの交換作業はサルをケージから出すことなく操作ができること。
7. 正面扉は右側抜き差し丁番でケージ本体に取り付けられ、扉の中央下部に上下スライド式の小扉(W210×H350)を配置すること。格子の隙間は W45mm×H135mm を基調に構成され十分な強度を持った構造であること。
8. 扉の開閉はプッシュボルトおよび南京錠両方に対応した構造であること。プッシュボルトはサルが触っても解錠できない構造であること。
9. ケージ側面はスライド開閉可能で両隣のケージと連結可能であること。ただしサル自身が開閉できない構造であること。
10. 飲水用の給水ノズルの交換・メンテナンス時はケージからの着脱・分解には工具を必要としないものとし、飼育中のサルからは外せないいたずら防止の構造であること。
11. 大学所有の既存のアルミ製のサル用キャッチングケージに連結可能であり、連結時のキャッチングケージから人が手を放しても脱落せず保持できる構造であること。
12. ケージ内上部に 2 本のぶら下がり棒を配置すること。またそのぶら下がり棒はサルの居住に支障が出ない位置に配置すること。
13. 現在動物施設で試用中のブルートゥース方式の体温測定装置の受信機を搭載することができ、問題なくデータ通信ができる仕様であること。また、その受信機は飼育中のサルが壊すことがないような構造であること。

(性能、機能以外の要件)

①.設置条件等

1. 本学動物生命科学研究センター内の指定の飼育室に設置すること。
2. 機器製造の進捗状況を本学担当者に連絡し、設置の際には日時・搬入経路等を必ず本学担当者と調整すること。
3. 設置に関しては本学担当者との念入りな打ち合わせをし、本施設の運営に支障をきたさない設置方法をとること。
4. 施設に損傷を与えないよう十分な注意を払うよう務め、必要に応じ搬入経路に養生を施すこと。大学施設に損傷を与えた場合には、供給者の責任において原状回復すること。なお、納入の際には供給者が必ず立ち会うこと。
5. 本施設に物品を搬入・設置の際には本施設の飼育室入室資格を持つ者 1 名が常時立ち会うこと。なお、これに要する費用は、本調達に含まれる。

②.保守体制等

1. 本設備の修理、部品供給、その他アフターサービス、メンテナンスに対しては 12 時間以内に現地にて対処すること。
2. 本学から 100 km圏内に対応できる拠点があること。
3. 導入後、1年以内に通常の使用により故障が生じた場合は、無償で修理すること。

③.その他

1. 製造に必要な機器等及び消耗品については受注者側で負担すること。
2. 製造に当たり不明な点がある場合は、本学担当者に確認すること。
3. 契約上の詳細は、本学が定めた契約規程及び契約基準によるほか、明記なき事項については、双方協議して定めるものとする。